

☆かわちながの

# 市議会だより

No.266

令和6年12月発行

発行／大阪府河内長野市議会  
編集／広報委員会



「白銀の蓮池」延命寺（観光写真コンクール入賞作品）

## 令和6年 9月定例会

- 令和5年度河内長野市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び上下水道事業決算を認定
- 河内長野市教育委員会委員の任命に同意

令和6年9月第3回定例会が8月30日から9月25日までの27日間開かれました。

議員からは、災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書などの決議案2件、議席の変更についての決定1件が提出されました。これらは全会一致で可決（決定）されました。

一方、市長からは、河内長野市市税条例の改正についての条例案7件、一般会計等の補正予算案3件、令和5年度の各会計歳入歳出決算認定案件8件、河内長野市教育委員会委員の任命についての人事案1件、文化振興財団や河

内長野都市開発株式会社等外郭団体の令和5年度事業並びに決算報告6件、専決処分報告3件、令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告2件、令和5年度水道事業会計継続費精算報告書の報告1件、その他5件の合計36件の議案が提出されました。これらは、いずれも可決（承認・了承・認定・同意）されました。

また、議員の欠員に伴う南河内環境事業組合議会議員の選挙を行いました。

（議案等の概要並びに議案等に対する各議員の態度は2頁～4頁に掲載）



## 議案等の概要

議案等番号	件名	議決結果	議案等の概要
決定第1号	議席の変更について	決定	奥村亮議員の議席番号を5番から7番に、堀川和彦議員の議席番号を7番から8番に、それぞれ変更する。
報告第12号	専決処分報告について(令和6年度河内長野市一般会計補正予算(第3号))	承認	(令和6年7月1日専決処分) 歳入歳出予算の補正。歳入歳出予算は、それぞれ3,431万8,000円を追加し、予算総額は、421億8,955万1,000円となる。歳出として、大阪府議会議員の失職に伴う補欠選挙の選挙事務従事者派遣業務委託料などを計上。
報告第13号	専決処分報告について(公の施設(河内長野市立木戸東運動場)の指定管理者の指定について)	承認	(令和6年7月4日専決処分) 令和6年7月1日に開設した公の施設「河内長野市立木戸東運動場」の指定管理者として、他の市内スポーツ施設の指定管理者である「河内長野SSKグリーン工房共同事業体」を指定した。当該団体は、他の市内スポーツ施設において、適正な管理運営を行っている実績があり、また、市民の利便性を損なうことなく他の市内スポーツ施設と一体的な運営が可能になることから、特定指定として当該団体を指定したものであり、指定の期間については他の市内スポーツ施設の指定の期間の残期間である、令和6年7月1日から令和9年3月31日まで。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があるが、当該議決を経ないことが判明したことから、法的な根拠がない状態を速やかに解消するため専決処分した。
報告第14号	専決処分報告について(和解並びに損害賠償の額の決定)	了承	(令和6年8月8日専決処分) 令和6年6月26日、旧長野北高等学校において、建物屋上ひさし部分に設置されていた天井パネルの接合部が外れ、駐車中の自家用車に落下し、当該車両を損傷させた物損事故について、市の責任割合を100パーセントとし、損害賠償額40万5,960円を支払うことで和解する。
報告第15号	令和5年度河内長野市水道事業会計継続費精算報告書の報告について	了承	令和4年度から2ヶ年の継続事業として施行してきた日野浄水場活性炭注入設備更新工事が令和5年度で完了したため、本事業に係る継続費精算報告書を報告する。
報告第16号	令和5年度健全化判断比率の報告について	了承	実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字が発生していないため算定されなかった。また、実質公債費比率は2.2%。将来負担比率は算定されなかった。いずれも早期健全化基準を下回り、健全段階となっている。
報告第17号	令和5年度資金不足比率の報告について	了承	水道事業会計及び下水道事業会計は、どちらも資金不足は生じていないので、算定されなかった。
報告第18号	令和5年度公益財団法人河内長野市勤労者福祉サービスセンターの事業並びに決算の報告について	了承	事業実績としては、生活安定事業、余暇活動事業等を行った。決算の概要は収益合計が1,868万2,208円に対し、費用合計は2,082万1,106円で、一般正味財産増減額は213万8,898円の減となった。
報告第19号	令和5年度公益財団法人河内長野市文化振興財団の事業並びに決算の報告について	了承	事業実績としては、地域の芸術文化の振興を図る事業として「奥河内音絵巻」等の文化事業を実施した。決算の概要は、収益合計3億2,268万9,805円に対し、費用合計は3億1,762万9,083円で、一般正味財産増減額は506万722円の増となった。
報告第20号	令和5年度公益財団法人河内長野市公園緑化協会の事業並びに決算の報告について	了承	事業の実績としては、公園・緑地の維持管理事業、地域施設の緑化支援等を行った。決算の概要は、収益合計3億11万8,314円に対し、費用合計は2億9,792万890円で、一般正味財産増減額は219万7,424円の増となった。
報告第21号	令和5年度三日市都市開発株式会社の事業並びに決算の報告について	了承	事業実績としては、フォレスト三日市のビル管理受託、不動産賃貸、駐車場・駐輪場の管理運営等に係る業務を行った。決算の概要は、収益合計2億1,161万974円に対し、費用合計は2億757万5,994円で、当期純利益は403万4,980円となった。
報告第22号	令和5年度河内長野都市開発株式会社の事業並びに決算の報告について	了承	事業実績としては、ノバティながのの不動産賃貸借、駐車場・駐輪場の管理運営等に係る業務を行った。決算の概要は、収益合計2億937万2,612円に対し、費用合計は2億1,375万8,147円で、当期純損失は438万5,535円となった。
報告第23号	令和5年度三日市町駅整備株式会社の事業並びに決算の報告について	了承	事業実績としては、三日市町駅の鉄道駅総合改善事業整備施設及びホーム施設等の賃貸業務を行った。決算の概要は、収益合計1,739万9,200円に対し、費用合計は1,746万342円で、当期純損失は6万1,142円となった。
認定第1号	令和5年度河内長野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	「包括予算制度」のもと、歳入決算額414億8,322万円、歳出決算額411億6,469万円となり、歳入歳出差引額は3億1,853万円の黒字であり、繰越財源7,532万円を除く実質収支は2億4,321万円の黒字となった。主な歳出として、まちづくり分野では、南花台地区における自動運転技術を活用した移動支援サービス、(仮称)南花台中央公園整備に向けた用地購入、小山田西地区における土地区画整理事業及び堺アクセス道路の整備に向けた調査・設計などの取り組みを実施した。子育て分野では、妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援の充実や、令和6年4月から子ども医療費助成対象年齢を「18歳到達年度末まで」に拡充するためのシステム改修などを行った。環境分野では、2050年までにゼロカーボン達成するため、新たに民間事業者・個人向けの補助事業を実施した。農林業分野では、「世界かんがい施設遺産に登録された寺ヶ池・寺ヶ池水路のPRを行うための看板設置や、「おおさか河内材」の利用促進及び林業振興を図るための補助等を行った。産業分野では、赤峰市民広場の産業用地化に向けた関係機関との協議や立地企業の公募、オープンカンパニー事業等を実施した。危機管理分野では、消防広域化の実現に向けた取り組みやマンホールトイレの設置、避難情報などを記した災害ハザードマップの作成・配布を行った。教育分野では、南花台地区施設一体型小中一貫教育推進校及び南花台放課後児童会の整備、中学校全員給食を実現するための給食センター整備に向けた基本計画の策定や整備用地造成工事の設計業務などを行った。災害復旧関連では、令和5年6月の大雨により被災した各施設の復旧工事を行った。経常収支比率は95.3%となり、前年度と比べ1.6ポイント悪化した。
認定第2号	令和5年度河内長野市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	保険料収入の確保に努めた結果、歳入が121億9,055万円、歳出が121億8,952万円となり、歳入歳出差引103万円の繰越金が生じた。

議案等番号	件名	議決結果	議案等の概要
認定第3号	令和5年度河内長野市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入歳出ともに8,834万円。歳入は普通財産等貸付収入、一般会計からの繰入金。主な歳出は長期償還元金等。
認定第4号	令和5年度河内長野市部落有財産特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入歳出ともに3万円。主な歳入は市地区及び原地区部落有財産基金の利子収入。主な歳出は、市地区及び原地区への交付金。
認定第5号	令和5年度河内長野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入110億3,057万円に対し、歳出110億2,660万円で397万円の黒字。主な歳入は保険料、国・府の負担金及び交付金、支払基金からの交付金、一般会計からの繰入金等。主な歳出は保険給付費、地域支援事業費等。
認定第6号	令和5年度河内長野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	歳入26億3,220万円に対し、歳出25億5,552万円で7,668万円の繰越金が生じた。繰越金は出納整理期間中に収入した令和5年度保険料で、出納閉鎖後に令和6年度負担金として大阪府後期高齢者医療広域連合に納める。
認定第7号	令和5年度河内長野市水道事業決算認定について	認定	収益的収支は収入が24億886万円に対し、支出が23億54万円。税抜き決算額は1,750万円の当年度純利益となった。資本的収支は収入が7億4,531万円に対し、支出が17億513万円。9億5,982万円の不足を損益勘定留保資金等で補てんした。
認定第8号	令和5年度河内長野市下水道事業決算認定について	認定	収益的収支は収入が31億6,420万円に対し、支出が30億3,206万円。税抜き決算額は9,933万円の当年度純利益となった。資本的収支は収入が13億1,066万円に対し、支出が23億9,332万円。翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いた10億8,397万円の不足を損益勘定留保資金等で補てんした。
議案第52号	河内長野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の改正について	可決	児童手当法の改正により令和6年10月1日から児童手当の支給要件としての所得制限が撤廃され、所得制限で給付を受けられない者に対して給付する特例給付の制度が廃止されることに伴い、所要の改正を行う。
議案第53号	河内長野市日野地区環境整備基金条例の改正について	可決	日野地区の環境整備事業等に要する資金に充てるために設置された基金の一部を取り崩し、橋梁修復工事の事業に充てるべく、本条例を改正する。
議案第54号	河内長野市市税条例の改正について	可決	地方税法等の法律が改正されたことに伴い、本条例を改正する。主な内容として、個人市民税について、公益信託制度の見直しによる所得税法の改正に伴い、寄附金税額控除の適用範囲の規定整備を行う等。
議案第55号	河内長野市立市民運動場設置条例の改正について	可決	赤峰市民広場の廃止に伴い、夜間利用が可能な運動広場として河内長野市立下里総合運動場の一部に照明設備を設置することとなったことから、開場時間の変更及び照明設備利用料金を設定する。
議案第56号	河内長野市国民健康保険条例の改正について	可決	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の成立によりマイナンバーカードと被保険者証が一体化され、令和6年12月2日以降、現行の被保険者証の新規発行が終了することに伴い、保険料滞納による市からの被保険者証の返還の求めに応じない者に対する罰則規定を削除する。
議案第57号	河内長野市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の改正について	可決	水道法の改正に伴い、厚生労働省の所管である水道行政が国土交通省及び環境省に移管され、主務大臣の変更が生じたことにより本条例を改正する。
議案第58号	新学校給食センター整備用地造成工事請負契約の締結について	可決	新学校給食センターの整備に向け、その整備予定地における用地造成工事などについて条件付き一般競争入札により、株式会社メイテックと3億3,295万1,300円で契約。
議案第59号	財産取得について	可決	消防団第2分団天野班に配備されている消防車両を更新するため、総重量3.5tの消防団用CD-I型消防ポンプ自動車を1台購入する。令和6年8月7日に指名競争入札を執行し、株式会社モリタが2,795万6,950円で落札。
議案第60号	財産取得について	可決	教科書改訂に伴い、令和6年度に使用する小学校教師用教科書及び指導書を令和6年4月1日に、松田書店から2,188万7,068円で購入したが、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条による議会の議決を要する事項であるにもかかわらず、その点を欠いたまま購入した。購入時点に遡及して有効なものとするために、追認する議決を求める。
議案第61号	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	可決	大阪広域水道企業団が共同処理する事務に岸和田市、八尾市、富田林市、柏原市及び高石市に係る水道事業の経営に関する事務を追加するとともに、これに伴う大阪広域水道企業団規約の変更について関係市町村と協議を行うため、議決を求める。
議案第62号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	可決	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の成立によりマイナンバーカードと被保険者証が一体化され、令和6年12月2日以降、現行の被保険者証の新規発行が終了することに伴い、大阪府後期高齢者医療広域連合規約において使用している被保険者証などの文言を改正する必要があることから、本規約の一部を変更することについて関係市町村と協議を行うため、議決を求める。
議案第63号	令和6年度河内長野市一般会計補正予算(第4号)	可決	歳入歳出予算、債務負担行為及び地方債の補正。歳入歳出予算それぞれ6億6,931万2,000円の追加で、予算総額は428億5,886万3,000円となる。主な歳出として、児童手当制度の拡充に伴う児童手当扶助費、令和5年度決算剰余金の財政調整基金への積み立て、公園における害虫被害木の伐採に要する費用、カメル市との姉妹都市提携30周年に合わせた交流事業に要する費用等。
	令和6年度河内長野市一般会計補正予算(第4号)に対する修正案	否決	①国際交流事業の中の万博推進費事業を中止する。②歳入の生涯学習及び国際交流基金繰入金を減額する。

議案等番号	件名	議決結果	議案等の概要
議案第64号	令和6年度河内長野市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決	歳入歳出予算の補正。歳入歳出それぞれ477万1,000円を追加し、予算総額は121億7,488万2,000円となる。主な歳出として、河内長野市国民健康保険事業財政調整基金への積立金等。
議案第65号	令和6年度河内長野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	歳入歳出予算の補正。歳入歳出それぞれ2,136万7,000円を追加し、予算総額は126億5,373万円となる。主な歳出として、河内長野市介護給付費準備基金への積立金等。
選挙第4号	南河内環境事業組合議会議員の選挙について	当選	吉竹英行議員が当選。
議案第66号	河内長野市教育委員会委員の任命について	同意	河野清志氏を選任する。
議案第67号	河内長野市国民健康保険条例の改正について	可決	大阪府国民健康保険運営方針が改正されることに伴い、本条例を改正する。主な内容として、急患等で保険医療機関などを受診した被保険者について、保険料の納付を最長1年間徴収猶予することができるよう、規定を追加する。
決議案第5号	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	可決	
決議案第6号	性暴力支援センター大阪SACHICOの存続と体制強化を求める意見書	可決	

## 議案等に対する各議員の態度 (全会一致でない議案等の賛否)

○：賛成 ●：反対

議案等番号	件名	議決結果	自民党・市民クラブ・無所属議員の会					公明党				大阪維新の会		日本共産党			会派に所属しない	
			奥村亮	堀川和彦	土井昭	峯満寿人	桂聖	奥井良二	浦山宣之	三島克則	大原一郎	林史隆	吉竹英行	駄場中大介	宮本哲	丹羽実	工藤敬子	若林靖
認定第6号	令和5年度河内長野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○
議案第63号	令和6年度河内長野市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同予算に対する修正案	否決	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●



## 視察記録 (令和6年8月7日～)

### 当市へ視察

#### 8月21日

- 視察者  
奈良県大和高田市議会 日本共産党 議員3名

#### ● 調査事項

「ブランディング事業」全体の概要と職員を対象にした「インナーブランディング」の取り組みについて

#### 10月4日

- 視察者  
福岡県太宰府市議会  
建設経済常任委員会 議員5名

#### ● 調査事項

グリーンスローモビリティ「クルクル」事業について

#### 10月22日

- 視察者  
静岡県三島市議会 会派新風会 議員2名
- 調査事項  
グリーンスローモビリティによる地域内移動サービスについて

#### 11月11日

- 視察者  
福岡県久留米市議会  
生活支援交通・買物問題調査特別委員会 議員10名
- 調査事項  
地域公共交通(コミュニティバス、乗合タクシー、スマホ教室)の取組について

#### 11月12日

- 視察者  
福島県須賀川市議会 会派志政会 議員9名
- 調査事項  
認知症支援条例制定を含めた認知症施策について

# 一 般 質 問

9月10日と11日の2日間、14人の議員による一般質問を行いました。

本紙に掲載しているのは、質問及び答弁の要点を広報委員会がまとめたものです。全文は11月下旬に発行している会議録をご覧ください。

会議録は市役所1階の情報コーナーや図書館等でご覧になれます。

また、市のホームページにも掲載しています。



会議録

代表質問	峯 満寿人(自民党・市民クラブ・無所属議員の会) ……	5頁
	浦山 宣之(公明党) ……	6頁
	吉竹 英行(大阪維新の会) ……	6頁
	宮本 哲(日本共産党) ……	7頁

個人質問	三島 克則(公明党) ……	7頁
	丹羽 実(日本共産党) ……	8頁
	土井 昭(自民党・市民クラブ・無所属議員の会) ……	8頁
	工藤 敬子 ……	8頁
	桂 聖(自民党・市民クラブ・無所属議員の会) ……	9頁
	駄場中 大介(日本共産党) ……	9頁
	奥村 亮(自民党・市民クラブ・無所属議員の会) ……	9頁
	若林 靖 ……	10頁
	大原 一郎(公明党) ……	10頁
	林 史隆(大阪維新の会) ……	10頁

## 代表質問



自民党・市民クラブ・  
無所属議員の会代表 **峯 満寿人**

### 西野新市長に本市の将来像を問う 本市の防災対策と財政状況を聞く



#### 西野市政の目指す将来像について。

**問** 機構改革の進め方についてはいかがお考えか。

**答** 令和7年度に新たに局制を導入し、横断的に意思疎通が図られる組織体制を構築する。これまでなかった規模の組織改革を、これまでなかったスピード感で取り組んでいる。

**問** 成長戦略局に新設の営業部長の外部人材登用と、「価値を売り込む力」と「稼ぐ力」強化の方法は。

**答** 民間ノウハウを取り入れながら戦略的にまちづくりを進めていく。営業部内には、市を売り込む課を設置し、ふるさと納税課を独立させ、体制の強化と拡充を図る。営業部長の登用は、公募により優秀な人材を確保したい。

**問** 総務経営局の「ヒト・モノ・カネ」による適正で安定した持続可能な行政経営とは。

**答** 市民に寄り添いながら「ヒト・モノ・カネ」を資源とし、そのポテンシャルを高め、適正で安定した行政経営の土台を構築し、相互作用を生み出して地域内の循環を高めていく。

**問** 都市環境安全局における都市インフラの適切保全と危機管理部局の位置づけは。

**答** 25年後も持続可能な、災害に強い、安心・安全で美しく、資源を生かした魅力ある都市を形成する。危機管理部局は局直轄とし、局長と危機管理監の兼務に

より全てのインフラ対応を一元化し、危機管理体制の強化を図る。

**問** こどもの未来と総合福祉局について。市長の考える子育て支援策とは。

**答** 子育てにおける保護者負担の軽減を図り、本市でしかできない子育て支援策を組み合わせて効果的な施策を推進する。

**問** 教育分野での学校教育と社会教育との連携は。

**答** 子どもの主体性と探求能力、当事者意識を育み、自己肯定感が高まる学びの環境整備と全ての市民が社会教育を受ける機会を提供する。

**問** 職員の意識改革にはどのように取り組むのか。

**答** これまでの慣例等にとらわれず、当たり前を疑うよう号令を出している。職員との信頼関係を築き、オール河内長野でのまちづくりに取り組む。

#### まちづくり事業への取り組みについて。

**問** 道路整備の考え方は。

**答** 堺アクセス道路は用地買収を円滑に進めることが重要となる。大阪南部高速道路や上原町交差点立体交差化等についても国や府へ要望を継続する。

**問** 産業用地創出状況は。

**答** 高向・上原地区は、令和6年9月末より土砂搬入を開始予定。小山田西地区は、令和7年6月頃の土地区画整理組合設立に向けて手続を進めている。

**問** 河内長野駅前への民間活力導入による市有地活用の考えは。

**答** 旧保健センター跡地を先行的に事業化していきたい。令和7年度の民間事業者募集に向けた取り組みを進め、魅力ある駅前整備を推進していきたい。

#### 本市の防災対策は万全か。

**問** 被災記録の把握は。

**答** 災害履歴は比較的近年の記録となっている。過去の被災記録や地質データ等の分析・研究は有効と認識しており、今後も各種データの収集等に努める。

**問** 広域消防移行に伴う消防団業務への影響は。

**答** 移行前と同様の関係が継続され、災害現場でも十分な連携が取れている。

#### 本市の財政状況について。

**問** 令和5年度決算に見る収支総括は。

**答** 想定していたよりも良い状況となっている。

**問** 今後の財政見通しは。

**答** 人口減少等で市税減収が見込まれ、大規模な投資的事業も控えており、さらに厳しい財政環境を予想。自主財源確保を目指し、稼ぐ力をつけていきたい。

新たに導入される「局制」でスピー



代表  
質問



うらやま のぶゆき  
公明党代表 浦山 宣之

新体制でさらに選ばれるまちへ  
健康でだれも取り残さないまちへ



選ばれる河内長野市へさらに前進を。

問 子育て世代や若い世代にも選んでもらうためには。また、空き家対策は。

答 本市は年少人口の転入超過、開発団地での若年人口増加により、再生フェーズに移行する地域があるなど、重要なターニングポイントを迎えている。今後、空き家が増えてくると予測しているが、新たな住民を呼び込む好機と捉え、住宅流通の促進や子育て支援を強化する。空き家対策については、令和7年度から専門的に取り組むグループも設置したい。

問 人口減少に負けない持続可能なまちの活力を。

答 高向・上原地区は令和10年度末を事業完了目標とし、固定資産税や法人市民税等の事業効果は約2億9,000万円と試算している。小山田西地区は令和13年度末の事業完了目標で、事業効果は約2億7,000万円と試算している。

問 税収増のための営業部・ふるさと納税の強化は。

答 令和7年度からは、営業部内にふるさと納税課を設置し、体制を強化するとともに、戦略的なマーケティングにより寄付額の増加につなげたい。河内長野を体験してもらえる返礼品も考えたい。

誰も取り残さないまちへ。

問 学校に行きづらくなった子ども達への対策は。

答 新たな人材配置や学習者用端末を活用した人と人とのつながりをつくる取り組みの充実に加え、オンライン授業等の学習支援も充実させていく必要があると考えている。

問 障害者差別解消法により、お店など一般事業者に合理的配慮の提供が義務化されたことについて。

答 府の研修受講証明書制度を関係団体等に周知し、事業者等と連携する。

問 移動手段の確保を。

答 令和6年10月よりコミュニティバスの実証運行と鉄道・バス共通デジタル乗車券の導入実験を行う。クルクルは将来的な担い手不足を解消するため生活道路で自動運転の実証実験を進めている。

健康日本一、河内長野市へ。

問 带状疱疹ワクチン接種の助成制度創設を。

答 厚生労働省から定期接種の方針が示された。費用の負担軽減について検討したいと考えている。

問 糖尿病の治療中断者への受診勧奨対策強化を。

答 受診が確認できなければ翌年に再度受診勧奨を行う等対策に努める。

問 聴覚低下は認知症やうつ病等の発症リスクを高める。サポート体制は。



空き家への若年世代転入促進  
で人口の再生フェーズへ

代表  
質問



よしたけ ひでゆき  
大阪維新の会代表 吉竹 英行

令和7年度のスタートにむけて  
新市長に問う



市長の所信表明演説について。

問 組織はあくまでも目的を達成する手段だが、その目的は何か。

答 令和7年4月に実施する組織改革には、新たに4つの局から成る局制を導入する。一般的に市役所は縦割りやゆされ、行政内部での連携不足等により非効率と言われている。局制の導入により最大限、横断的に意思疎通が図れる体制を構築するのが目的である。成長戦略局は、価値を売り込む力と稼ぐ力をつけて、多様な社会ニーズを捉えた成長戦略に基づく市民が実感できるまちの変化を創出する。総務経営局は、市民に寄り添い、「ヒト、モノ、カネ」を資源としポテンシャルを高め、適正で安定した持続可能な行政経営の土台を構築する。都市環境安全局は、25年後も持続可能な、災害に強い、安心・安全で美しく、資源となるモノを生かした魅力ある都市を形成する。こ

もの未来と総合福祉局は、次世代への投資を意識して全ての子どもの育ちを後押しし、全ての市民のウェルビーイングを実現する。

2025年大阪・関西万博への当市の取り組みについて。

問 大阪・関西万博に向けて、市民との連携の状況は。

答 万博を契機とした新たなまちづくりにつなげるため、令和6年12月から令和7年1月にかけてワークショップ、2月にはプレ万博イベントの開催を予定し、令和7年度には、「つながる河内長野万博」を、万博の共創チャレンジに登録しているEXPO酒場や地球オルガンプロジェクト、河内長野駅前再生会議と共に進めていく。

問 「2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業」の活用について。

答 児童・生徒招待事業は、家庭環境にか

かわらず、より多くの児童・生徒が来場できるよう学校や学年単位で万博会場へ無料で招待し、将来の夢や希望を感じ取れる機会を提供すること等を目的とするもの。教育委員会としては、今回の万博が教育的にも意義のあるものと考えている。

教育について。

問 市長の所信表明で保護者負担の軽減とあるが、給食無償化の考えは。

答 学校給食の食材費は、学校給食法で保護者負担とすることが定められている。しかし、学校設置者の市が自主的な判断をすることも必要と考える。小学校給食の無償化は財政負担を伴うが、段階的に、前向きに検討を進めたい。



新体制スタート！

代表  
質問



日本共産党代表 **宮本 哲** みやもと さとし

様々な市民の声を聞く市政へ  
人口減少問題解決は冷静な分析で



新市長の政治姿勢を聞く。

**問** 無所属で当選された市長は、すべての市民の声に耳を傾け、また議会内でも政治信条の違う党派とも意見交換を聞けるのか。

**答** 政党や思想・信条で対応を変えたり、聞く耳を持たないといった考えはない。様々なご意見を聞かせていただき、それらを踏まえ、本市の未来にとって何が最善なのかを判断し、市政を前進させていく。

**問** 人口減少問題の解決は冷静な分析で空き家対策や転入策の強化を柱に。

**答** 第6次総合計画の基礎調査分析結果から、令和5年度には転出・転入数の差が僅かとなるまで改善しており、人口増加フェーズに入っている地域も現れている。空き家対策や住宅流通の促進等、若年世帯にとって魅力あるまちづくりを推進していく。

**問** 赤峰等の産業集積拠点化を機に地元で就職する若者への奨学金返済補助制度等を検討しては。

**答** 自治体独自の奨学金返還者への補助制度等について、課題や導入した場合の有効性等を研究し、若い世代が就職しやすい環境づくりを検討していく。

**問** 大阪南医療センターの拡充、府立高校の存続など国・府に強く要請を。

**答** 大阪南医療センターについては、情報共有や連携の強化を図りながら、必要に応じ関係機関等に要望していきたい。府立高校については、適正な学校配置について府への要請を継続する。

ハラスメント問題とコンプライアンスについて。

**問** 庁内でハラスメントについての相談や案件はあるのか。すべての職員に対し学習の機会と相談できる環境の整備を。

**答** 職員からハラスメントに関連する相

談を受けることもある。ハラスメントを防止し、職員が十分に能力を発揮できる良好な職場環境構築のため、様々な取り組みを行っていく。

**問** 事務的ミスが多発している。職員のモチベーションアップとコンプライアンスの取り組みは。

**答** これまでも適正な事務の徹底について注意喚起を行ってきた。今後も、コンプライアンスの推進と職員のモチベーション向上に努めていく。

安心安全な教育環境を。

**問** 子どもたちの安全が確認されなければ万博会場を遠足地にしないことに変わりないのか。

**答** 万博会場の安全が確保されることを前提に計画を進めており、各学校と相談し進めていきたい。



なくてはならない府立高校  
拡充が必要な医療センター

個人  
質問



公明党 **三島 克則** みしま かつのり

子育て世代から選ばれるまちづくりを



他市にない先進的な子育て施策を先行し、子育て世代から選んでもらえるまちづくりを。

**問** イエナプラン教育についての考えと実施に向けた市の見解は。

**答** 学習指導要領で定められた内容や枠組みから逸脱しない範囲で、児童・生徒自ら課題を見つけ、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力の育成に努めていく。

**問** 男性のHPVワクチン接種助成事業の開始は。

**答** 市が助成制度を設けることで個人の経

済的負担が減り、接種の促進やがんの予防、性感染症予防につながると考える。男性へのHPVワクチンの定期接種化を早期に実現するよう国に要望するとともに、市独自の費用助成についても検討していきたい。

事前防災の強化で真の安全・安心なまちづくりの構築を。

**問** 令和6年8月8日に南海トラフ地震臨時情報が発表された。①ローリングストックの意義と推奨を市民に広く啓発すべき。②市の備蓄品に粥を追加すべき。③電柱への避難所案内掲示板の設置は。

④受援体制は。

**答** ①様々な機会を通じて周知を図り、理解を深めていただけるよう努めていく。②購入の検討対象として商品研究をしていきたい。③転入者やインバウンドなどの来訪者に対する誘導に鑑み、分かりやすい避難誘導について、他市事例なども研究していきたい。④令和3年3月に河内長野市受援計画を策定した。大規模災害発生時には、本計画を基に外部からの応援を円滑に受け入れ、最大限活用できるよう取り組んでいきたい。



健やかで夢や希望ある河内長野つ子をみんなで

意見書

- 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書
- 性暴力救援センター・大阪SACHICOの存続と体制強化を求める意見書

意見書とは… 地方公共団体の公益に関することについて、議会がその意思を意見としてまとめたものです。地方自治法に基づき、議員が提案して本会議で議決後、議長名で関係する国の省庁等に提出します。



※意見書の内容はホームページに全文掲載しています

個人質問



日本共産党 **にわ** **みのる**  
**丹羽 実**

### 地域拠点循環バスの本格運行を



#### 住みよいまちづくりについて。

**問** 国道371号バイパスが通る市南部地域と上原商業地域を結ぶバスについて。

**答** 今回の実証運行は、以前より要望のあった丘の生活拠点である南花台から商業地域である高向・上原地区へのルートに加え、人の集まる拠点を結ぶルートを予定しており、コロナ禍後の移動需要や利用実態を把握し、バス路線維持のための公共交通網の再構築に反映していく。

**問** 試験運行から本格運行への条件は、1台当たりの乗車人数だけでなく、高向・上原産

業用地等のこれからの需要も考慮すべき。

**答** 今回の実証運行の結果、1便当たりの乗車人数や利用者のご意見などを参考に、地域公共交通会議の意見も聞きながら、今後のまちの変容に伴う交通需要の拡大も考慮し、本格運行の可否について総合的に判断したい。

#### 大震災に関連する防災について。

**問** 大震災のとき、家具の転倒でけがを負う場合がある。家具転倒防止器具設置補助金制度を設けては。また、漏電火災を防止するため、感震ブレーカー設置補

助金制度を設けては。

**答** 家具転倒防止器具や感震ブレーカーについて、今後実施する出前講座や防災訓練等において、実物を見ていただけるようにするとともに、広報紙や市ホームページにおいて、必要性等を周知していく。補助制度についても引き続き、他市の事例等について調査、研究をしていく。

#### CO<sub>2</sub>排出ゼロを達成するために断熱効果の国際基準を取り入れ、それを満たす住宅に補助金を。



国道371号バイパスを走るコミュニティバス

個人質問



自民党・市民クラブ・無所属議員の会

どい あきら  
**土井 昭**

### 物価高騰に対する支援対策を



#### 物価高騰対策について。

**問** 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえた支援対策を問う。

**答** エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者、事業者を支援するため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、全ての層の方に対して物価高騰への対策が届くよう努めてきた。

**問** 昨今の原油価格高騰及び物価上昇の影響が長引く中で、学校給食の食材調達

においても大きな影響を受けているが、保護者の経済的負担軽減を図るための支援策を問う。

**答** 昨今の物価上昇により学校給食の食材についても高騰しているが、学校給食費の改定を行わず、学校給食会に対し補助金を給付することで、保護者に新たな負担を求めることなく安定した学校給食の提供に努めてきた。

#### 持続可能なまちづくりについて。

**問** 人口戦略会議で消滅可能性自治体とされた人口5万人以上の自治体を対象

にダイヤモンド編集部が調査した将来財政窮乏度ランキングで、本市が第1位となった。再生に向けた戦略を問う。

**答** 空き家となった住宅の流通促進や、子育て支援の充実、ソフト・ハード両面における魅力あるまちづくりを推進していく。今後は、本市のまちづくりにおけるターニングポイントにおいて、効果的な施策の積極的な推進により新たな魅力を創出し、市の価値を高めながら、転入促進につながるまちづくりへの転換を図っていく。



安定した学校給食の提供を！

個人質問



くどう けいこ  
**工藤 敬子**

### 手ぶら登園で笑顔あふれるまちに



#### 保護者の負担軽減と安心のサポートを。

**問** 市長の所信表明に「全ての子どもを育ちを後押しできるよう、保護者負担の軽減と安心のサポートや多様な特性を生かすことができる環境の整備を進める」とあった。私が過去に質問・提案した、紙おむつのサブスクリプション(※1)サービス、貸し布団、コットベッドの導入や支援について進展はあるのか。

**答** こども園等への紙おむつのサブスク導入は、子育て世代の負担軽減と、新しい子育て世帯を呼び込む意味で極めて重要な

取り組み。昼寝布団用のシーツやエプロンも含め、サブスク導入に向け、令和7年度から実施できるように制度化していきたい。

#### やるぞ、デコ活。デコ活アクションについて。

**問** 「ごみをできるだけ減らしてきちんと分別する」ことができ、焼却によるCO<sub>2</sub>排出をなくし、生ごみを堆肥として活用できるコンポストの推進について、広報や周知、勉強会を行う予定はあるのか。

**答** コンポストは、燃えるごみの約4割を占める生ごみの減量やごみ処理経費の削減につながる取り組みと認識している。

インターネットで容易に購入できる段ボールコンポスト、手軽で簡単に取り組めるコンポストバッグの普及に伴い、コンポスト活用の周知啓発を図り、さらなるごみ減量に努めていきたい。

**問** コンポストのごみを回収し、学校や公園の花壇に利用している市があるが、本市の見解は。

**答** コンポストにより生じる堆肥の出口を見つけることは、本取り組みを進める大変重要なヒントになるので、情報収集に努めたい。

荷物を持たず、子どもと手をつないで登園♪



※1…サブスクリプション：料金を支払うことで、商品やサービスを必要な期間利用すること。

個人質問



自民党・市民クラブ・無所属議員の会

かつら まさと  
桂 聖



## 本市の玄関、河内長野駅周辺の整備を

### 河内長野駅周辺の整備促進を。

問 旧保健センター跡地の活用方針を早急に打ち出し、予定を示せ。

答 河内長野駅周辺地区の活性化に寄与する高度利用や安全な歩行空間の確保を目指し、民間主導による周辺土地と一体での事業化を進め、令和7年度に民間事業者募集を実施したい。

問 ノバティ連絡橋に屋根をつけたのと同様に、市道である西商栄通りに市が屋根をつけてもよいと思う。観光客や移住を考える人が多く来るが、あのアーケードを見て、こんなところに住むのはやめておこうという人もいるのではないかと。商店街の再生は絶対必要不可欠。西商栄通りのアーケードの改修を。

答 本市による改修は様々な課題があるが、今後、商店街における官民連携のまちづくりの進展に合わせて、地域の方々と共に検討していきたい。

問 赤峰市民広場の産業用地化、高向・上原地区の外環状線沿道開発、小山田西地区の地域活性化に向けた取り組み等によ

### 外環状線上原町交差点の早期改良を。

答 赤峰市民広場の産業用地化、高向・上原地区の外環状線沿道開発、小山田西地区の地域活性化に向けた取り組み等によ

る交通量の増加を考え、通行量が増える前に工事着手し、できるだけ早く改良を。

問 府に対し、立体交差の事業化を継続的に要望している。府からは、371号バイパス開通後の交通状況について調査を実施するとともに、渋滞解消に向けた検討を進めると聞いている。

### 都市計画道路大阪河内長野線整備の状況は。

答 府において、令和7年度より詳細設計に着手し、順次用地買収等を進めていく予定と聞いている。



何とかしよう。駅前商店街

個人質問



日本共産党 だばなか だいすけ  
駄場中 大介



## 学校給食費の無償化を

### 給食費の無償化と地元農産物・有機農産物を給食に。

#### 問 給食費の段階的無償化を。

答 市からの物価高騰分補助を段階的無償化の第1段階として位置づけ、次の段階に向けたシミュレーションを立てている。

#### 問 遊休農地や有機栽培に関するアンケートの結果は。

答 農地所有者へのアンケートでは、10年後には農地を「売りたい」「貸したい」と回答した方が約3割、担い手農家へのアンケートでは「有機栽培に興味がある」

が約4割あった。

#### 問 さらなる調査と今後の取り組みの計画は。

答 地域の農業者などと座談会を開催しており、その中で議論を深めたい。

#### 問 地元農産物や有機農産物を給食食材とすることで、農家の収入を安定させ、地元有機農産物の栽培促進を。また市が給食食材の作付を依頼する契約栽培に挑戦を。

答 農業者団体と農林課、教育委員会の3者で連携会議を設け、地元農産物・有機農産物の導入促進をしてきた。今後も公共調達増加に努めたい。

### 樹木を大切に。

#### 問 寺ヶ池公園リニューアル工事で樹木が少なくならないように。

答 大規模な樹木伐採は想定していない。

#### 問 千代田台や西之山配水池においてクビアカツヤカミキリの被害に遭った桜が多く伐採された。今後伐採予定の桜も含め、伐採後は桜の苗木の植樹を。

答 段階的に伐根作業や植栽を進めたい。樹種については、桜も含め検討する。今後、倒木の危険性が高い概ね180本の桜の伐採を行う予定。



緑を大切に

個人質問



自民党・市民クラブ・無所属議員の会

おくむら りょう  
奥村 亮



## 子どもを産み育てるための環境整備を

### 子どもを産み育てる環境の整備について。

#### 問 休日保育と病児保育・病後児保育について。

答 休日保育については、民間園1園で独自に実施している。病児・病後児保育の利用延べ児童数は、令和5年度は、病児保育110名、病後児保育59名と、令和4年度より増加した。

問 私は4歳の双子の父親だが、自園以外の子どもも保育料を支払えば休日保育をしてもらえることを知らなかった。周りに聞いても同様で、あまり知られていない。休日保育を市の事業に組み入れて、市が広報すれば、働く世代を呼び込むきっかけになると思うが、どのような考えか。

答 必要とされる方に情報の提供ができていない部分は認識している。休日保育は事業規模が大きく、市の事業とすることは難しいが検討していきたい。

問 必要とされる方に情報の提供ができていない部分は認識している。休日保育は事業規模が大きく、市の事業とすることは難しいが検討していきたい。

#### こども部と福祉部局との連携について。

問 おむつのサブスクリプション(※1)についての答弁があったが、おむつの備蓄数は現在何枚か。

答 乳幼児用の紙おむつの備蓄数は約1,140枚となっている。

問 少ないと思う。そこで、保育園等に倉

庫を設置し、サブスクリプション用のおむつや防災備蓄としてのおむつ等を収納し、垣根なくローリングストックとして使っていけば、置く場所や在庫の確保もできると考えるがどうか。

答 備蓄についても認識している。倉庫を造ってということも一つの方法とっており、他の自治体の事例も踏まえて検討していきたい。

### 学校教育における自然環境を活かした教育の実践を。



子どもを産み育てるための環境整備を！

個人質問



わかばやし やすし  
**若林 靖**

女性・赤ちゃんに優しいまちへ



令和9年1月の中学校全員給食に合わせたオーガニック給食導入について。

問 子育ての呼び水の可能性がある週何回かのスモールスタートはいかが。

答 自治体毎に事情が違い、様々な取り組みや工夫を把握している。どの様な取り組みで実現できるのか研究していくべきと考える。

働く子育て世代をサポートするシニア世代を含めた担い手施策について。

問 子育て世代の呼び込みについて。

答 共働き世帯の増加により、仕事と育児が両立できる環境整備の充実が転入につながる。ファミリー・サポート・センター事業で支援提供者の多くが子育てを終えた方や孫育て世帯の方であり、子育て世帯の負担軽減やシニア世代の生きがいづくりに有益であることから充実が必要と考える。

問 本市は高齢化率が高くマイナスイメージであるが、それをプラスとして、シニア世代が活躍するところがあるところがある。ファミリー・サポート・センター事業とシルバー人材センターのにこにこルーム一時預かりとの違いは。

答 ファミリー・サポート・センター事業は援助を受けたい人、提供したい人のマッチングを行い、送迎や、登園後等の預かりを有償ボランティアが実施。にこにこルームはシルバー人材センターが実施しており、一時預かりを行う。

問 利用者視点に立ち、分かりやすい形で工夫を。マッチングについて、アプリの活用はいかがか。

答 サービスを受ける側、提供する側の利便性向上のためアプリ導入は有効であり、どのような活用ができるのか研究したい。



シニア層が子育てに参画できる仕組みを

個人質問



おおはら いちろう  
**公明党 大原 一郎**

シビックプライドに満ちたサービスを



本市職員の地域手当の見直しをさらなる市民サービス向上に繋げよう。

問 市はこの好機をどう捉え、どう活かすのか。

答 優秀な公務員志望者を採用するチャンスと捉え、市民サービスのさらなる向上を図っていく。

問 子ども・子育て支援制度や介護保険制度の地域区分も地域手当に準拠して見直しされる。具体的な見直し時期とメリットは。

答 地域区分の改定時期等ははまだ示されていないが、改定により各保育施設や介護

事業所の運営に寄与するものとする。

保育環境の充実で転入促進を目指す。

問 手ぶら登園の一環として0～2歳児の紙おむつを市が無償で提供する事例がある。保護者だけでなく保育士の負担軽減にもつながるので本市でも実施すべきではないか。

答 先進市の事例を研究し、財源確保に努めながら、手ぶら登園に向けた支援策を検討していきたい。

問 本市では第1子の就学と同時に第3子の保育料無償化はなくなる。第1子の年齢に関係なく第2子以降は保育料を無償

にしている自治体もある。第1子の年齢に関係なく第3子以降は無償にしては。

答 国や他の自治体の動向を注視し、財源確保にも努めながら検討したい。

問 年度途中入所の0歳児等に対応した職員数に対する助成を同年度当初から開始すべきでは。

答 年度途中に入所する0歳児を見込んだ公定価格算定の見直しを国へ要望する。

三日市小学校通学路に面した大型飲食店開業に係る安全確保策について丁寧な対応を。



手ぶら登園に向けた取り組みを!

個人質問



はやし ふみたか  
**大阪維新の会 林 史隆**

河内長野市民に役立つ議員を目指して



全ての子どもに優しい社会を。

問 学校給食の無償化について。

答 本市においては、昨今の物価高騰に伴う食材費高騰分を保護者に負担を求めず、学校給食会に補助金を交付することで安定した学校給食の提供に努めてきた。本市にふさわしい無償化の在り方について検討を進めたい。

問 引き続き、保護者負担は増やさずに補助金を継続できるのか。

答 補助金の継続については、財源の確保が課題であると認識している。

問 小中学校体育館に設置予定の「大風量スポットエアコン」の整備状況について。

答 災害時の避難所としての対応も視野に、体育館の空調設備の整備に取り組んでいく。工事スケジュールは、令和6年度に全中学校と小学校数校の整備を実施し、令和7年度の夏休みを中心に残りの小学校の整備を実施する予定。

2050年を見据えた河内長野の未来へ。

問 公園の現状と今後のあり方について。

答 老朽化が進み、役割を發揮できていない公園があることは認識している。都市

公園法により集約や廃止による維持管理の効率化は困難であるが、ニーズ等を把握して、安全・安心・快適な公園づくりを目指していく。

問 衰退していると感じる長野商店街、河内長野駅前前の活性化について。

答 長野商店街において地権者や民間事業者と共に活性化に向けた取り組みを進めている。保健センター跡地については、周辺の土地と一体での土地利用を進めたい。



長野商店街アーケード

# 議会役職者等一覧



議長	堀川 和彦	副議長	奥井 良一	監査委員	桂 聖
----	-------	-----	-------	------	-----

## 常任委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員			
総務常任委員会	峯 満寿人	吉竹 英行	丹羽 実 三島 克則	土井 昭		
都市環境・経済常任委員会	大原 一郎	宮本 哲	林 史隆 若林 靖	奥村 亮 奥井 良一		
福祉教育常任委員会	桂 聖	工藤 敬子	堀川 和彦 浦山 宣之	駄場中 大介		
予算常任委員会	桂 聖	宮本 哲	林 史隆 工藤 敬子	奥村 亮 駄場中 大介	三島 克則	
決算常任委員会	浦山 宣之	若林 靖	吉竹 英行 丹羽 実	大原 一郎 土井 昭	峯 満寿人	

## 議会運営委員会

委員長	副委員長	委員	
駄場中 大介	吉竹 英行	大原 一郎	峯 満寿人

## 各派幹事長

大阪維新の会	日本共産党	公明党	自民党・市民クラブ・ 無所属議員の会
吉竹 英行	駄場中 大介	大原 一郎	峯 満寿人

## 広報委員会

委員長	副委員長	委員	
三島 克則	奥村 亮	林 史隆	丹羽 実

## 一部事務組合議会等派遣議員

名称	派遣議員
南河内環境事業組合議会議員	吉竹 英行 奥井 良一 駄場中 大介 桂 聖
大阪南消防組合議会議員	丹羽 実 三島 克則 峯 満寿人

名称	議員
大阪広域水道企業団議会議員	堀川 和彦

## 各種委員会等への議会選出委員

名称	派遣議員			
河内長野市総合計画審議会	吉竹 英行(第1部会) 浦山 宣之(第1部会)	駄場中 大介(第2部会) 峯 満寿人(第2部会)	若林 靖(第3部会) 堀川 和彦(第3部会)	
河内長野市都市計画審議会	堀川 和彦 林 史隆	工藤 敬子 奥村 亮	宮本 哲 大原 一郎	
河内長野市国民健康保険運営協議会	桂 聖	工藤 敬子		
河内長野市青少年問題協議会	吉竹 英行	奥村 亮	奥井 良一	
河内長野市障害者施策推進協議会	桂 聖			
民生委員推薦会	桂 聖	工藤 敬子		
河内長野市有功者推薦審議会	堀川 和彦 奥井 良一	吉竹 英行 丹羽 実	三島 克則 峯 満寿人	
河内長野市市長表彰審査会	堀川 和彦	奥井 良一		
河内長野市立休日急病診療所運営委員会	桂 聖	工藤 敬子		
河内長野市立学校給食センター運営委員会	桂 聖	工藤 敬子		
河内長野市ラブホテル建築規制審議会	吉竹 英行	宮本 哲	大原 一郎	桂 聖
河内長野市保健問題対策協議会	桂 聖	工藤 敬子		
河内長野市人権尊重のまちづくり審議会	峯 満寿人	吉竹 英行		
河内長野市・橋本市・五條市広域連携協議会	堀川 和彦	奥井 良一	丹羽 実	
河内長野ユースホテル運営委員会	堀川 和彦			
河川を美しくする市民の会	大原 一郎	峯 満寿人		
河内長野市空家等対策協議会	大原 一郎	宮本 哲		

# 議員の横顔

市民のみなさんに市議会議員を身近に感じていただきたいという思いから、議席番号順に全議員をクローズアップしていきます。

議席番号

1

大阪維新の会  
はやし ふみたか  
**林 史隆**  
昭栄町在住



Q 学生時代、どんな学生だったのか。

A 小学生のときは、坊主頭の空手少年で、元気で活発な学校のリーダーでした。

Q どんな資格をもっていますか。

A 動力車操縦者運転免許（電車の運転士）。JR西日本で10年間勤務いたしました。

Q 議員になろうとしたきっかけは。

A 幼少期の頃の両親の影響と、昨年、息子が生まれたことで決意いたしました。



## 議会人事

### 委員会構成の変更等について

林史隆議員の当選等に伴い、委員会構成が変更となりました。あわせて空席となっていた議会運営委員会及び総務常任委員会副委員長の互選が行われました。

※変更後の各委員会委員等については11頁に掲載しています。

### 議席番号の決定及び変更について

令和6年9月定例会において、議席番号が下記の通りとなりました。

- 議席番号1番 …… 林 史隆 議員
- 議席番号7番 …… 奥村 亮 議員
- 議席番号8番 …… 堀川和彦 議員

### 所属会派の変更について

土井昭議員が、令和6年8月20日付で自民党・市民クラブ・無所属議員の会に所属することになりました。



## 議会日誌（令和6年8月～）

8月19日 都市環境・経済  
常任委員協議会  
全員協議会  
福祉教育常任委員協議会  
総務常任委員協議会  
23日 議会運営委員会  
各派幹事長会議  
30日 本会議（第1日）  
広報委員会

9月10日 本会議（第2日）  
11日 議会運営委員会  
各派幹事長会議  
本会議（第3日）  
13日 福祉教育常任委員会  
都市環境・経済常任委員会  
各派幹事長会議  
17日 総務常任委員会  
予算常任委員会

9月18日 決算常任委員会  
19日 決算常任委員会  
20日 決算常任委員会  
25日 本会議（第4日）  
10月17日 広報委員会  
21日～ 総務常任委員会行政視察  
22日（岡山県倉敷市・広島県安芸郡坂町）  
28日 全員協議会  
11月12日 広報委員会

## 12月定例会の予定（12/2～12/19開催予定）

日	月	火	水	木	金	土
1	2 13:00～ 本会議	3	4	5	6	7
8	9	10	11 10:00～ 本会議（一般質問）	12	13	14
15	16 10:00～ 福祉教育常任委員会 13:00～ 都市環境・経済 常任委員会	17 10:00～ 総務常任委員会 13:00～ 予算常任委員会	18	19 13:00～ 本会議	20	21

左記定例会日程については、変更となる場合があります。最新情報については市議会HPをご確認ください。



会議日程

